

美瑛岳

美瑛町立美瑛中学校
学校だより
令和6年10月号

「より充実した学校生活を目指して」

校長 金山 達也

学校運営協議会（CS：コミュニティスクール）の活動の一環で、5月に文化クラブのみなさんの手を借りて、コキアの苗を育てました。6月には、その苗を美瑛町東町町内会のみなさんをはじめ、CS&PTA役員のみなさん、文化クラブやボランティアのみなさんと植えることができました。そのコキアが太陽のエネルギーを得て成長し、私の背丈を超えるほど成長しているものさえあります。美瑛中につながる通りを「あいさつ通り」と名付け、花やコキアを植えて今年で8年目を迎えました。コキアの成長と共に、あいさつする声も少しずつ大きくなってきているのを実感します。この学校だよりが発行される頃には、コキアは片付けてしまっているかもしれませんが、生徒のみなさん、ぜひ元気なあいさつを今後も続けていきましょう。

さて、今月から令和6年度は後半戦となりますが、前半を少し振り返ってみたいと思います。今年度は、コロナ禍では制限のあった学校外での活動や外部から講師を招く活動に、より重点をおいて進めています。7月の2学年宿泊研修では、植松電機の社長様の講話とロケット制作、札幌の専門学校の訪問を実施しました。8月末には、保護者の方にもご案内をさせていただいた「性の多様性に関する授業」、9月には「インクルーシブ教育、共生社会の実現に関する授業」も外部の方を招いて、講話や車イス競技を体験する機会を設定しました。10月には1学年の職場訪問学習、2学年の職場体験学習など、地域の皆さまのご理解とご協力により、大きな学びを得る経験をさせていただきました。3学年では、恒例となった防災教室を開催し、避難所で自分に何ができるかを考える場面を設定しました。段ボールベッドの組立やアルファ米も配布されました。



様々な場所で、いろいろな人や物との関わりから学ぶことは、今後の人生において大変貴重なものとなります。特に、この2学期の後半からは、将来に向けて、学年関係なく、様々な準備をしていく大切な時期となります。ぜひ、ご家庭におきましても、将来について話題にさせていただき、今後の見通しを共有していただければ幸いです。後期も保護者の皆さまのご理解とご協力を得ながら、より充実した活動を推進していきます。



1. 2年生キャリア学習

10月は、8日（火）に1年生が旭川の企業を訪問し見学する「職場訪問学習」に行き、10日（木）と11日（金）



には2年生が町内外の企業等を訪れて仕事を体験させていただく「職場体験学習」に取り組みました。それぞれ実際の仕事の現場に入っていくことで、自身の職業観を高めることができました。どちらの学年も、礼儀正しく挨拶し、熱心に説明を聞く姿が立派でしたとお褒めの言葉をいただいています。



3年生食体験

3年生は、15日（火）と18日（金）にレストラン・アスペルジュへ行き、ランチのコース料理をいただきました。レストランシェフの美味しい料理をいただくということだけでなく、恵まれた自然環境と生産者の工夫と努力で生産された美瑛の農産物を味わうことで、美瑛産食材のすばらしさを体験する機会となりました。生徒達は緊張しつつ、多彩な料理をしっかりと味わうことができました。



出前授業～中1ギャップ解消に向けて～



美瑛中学校では、来年度入学してくる小学校6年生に出前授業を年に3回ほど行っています。美瑛中の先生が美瑛小と美瑛東小（美沢小、明德小も合流）に行き、授業を行います。少しでも中学校の先生に慣れてもらったり、中学校の学習に興味をもってもらったりして、中学入学への不安が解消されるよう努めています。9月には美瑛小で体育、10月には美瑛東小で美術（図工）の授業を行いました。

学校は生徒が主人公

先月、文化祭が行われましたが、その反省集会が9月26日（木）に行われました。各係で振り返った成果と課題が発表されました。それぞれの達成感とともに来年度への決意が感じられる集会になりました。また、10月には、1年生と2年生それぞれで、学年レクが行われました。学年事務局が中心となって自分たちでルールを決め、スポーツやカードゲームを楽しんでいました。自分たちで計画を立て、やってみて、しっかりと振り返り、次につなげる。その仕組みを身に付けて、将来、社会の中でも生かしていってほしいと思います。

